

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		新型コロナウイルス感染症対策事業費 [学童保育所事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 7	学童保育所費	事業番号	8			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	青少年課 課 青少年育成係 係					課長名	石川 博隆				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進							総合計画書 (ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内学童保育所へ通う、児童及び職員(学童保育所)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 学童保育所数(支援数) → ※令和3年度は、公設施設のみを対象						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 学童保育所を開所し、児童及び職員が新型コロナウイルスに感染させない。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 集団発生(クラスター)数 →						
	③ そのために何をしましたか。 補助金を活用し、感染防止に必要な消耗品や備品の購入し活用した。学童保育生活での新たな生活様式取り入れながら環境整備を図った。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ① 消毒用エタノールの購入 ② 非接触式検温計付きオースペンサースタンドの購入 ③ 二酸化炭素濃度測定器の購入 ④ パーテーションの購入 → ⑤ 水道蛇口自動水栓設置 ※令和3年度から活動指標の項目を変更した。						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	箇所		14	13					
	成果指標	②の数値	箇所		0.0	0.0					
	目 標	②の目標値	人		0	0					
目標値設定の考え方 新型コロナウイルス感染症対策のために実施した事業であり、利用者において感染者を出さないことが成果となる。											
	活動指標	③の数値	数量		① 7,000,000 ② 適時 ③ 2~3部 ④ 常時、適時	① 30本 ② 14台 ③ 13台 ④ 520枚 ⑤ 20カ所					
3 経費	事業費(実績)		円		6,983,677	3,010,700		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円		16,677	453,700					
		特定財源(国・都・他)	円		6,967,000	2,557,000					
		(うち受益者負担)	円		0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人		0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円		838,000	825,000					
事業費+人件費		円		7,821,677	3,835,700						
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和2 年度								
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し学童保育所の利用者と職員の健康安全を確保するため、必要な物品を購入、利用、活用し新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。										

事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業費 [学童保育所事業]			
担当部署・課長名	青少年課	課	青少年育成係	係 課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 学童保育所事業運営者（業務委託業者）より、経費面、環境改善、安全面で助かったとの意見あり			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 なし			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） なし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 なし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） なし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 今現在、必要と思われる備品の調達はできたが、日常的に使用する消耗品については、継続し調達、使用する必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 令和3年度は、特定財源の確保により市負担分がなく市主導で配備を進めたが、本来、消耗品等は契約上学童保育所運営業務委託者が準備をすることから、事業主の経費負担が多くなる。このため、新型コロナウイルス感染症関係について調整（契約変更の可否に関する協議）するか検討する必要がある。			